

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2014年6月27日から2024年6月26日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として世界各国の株式や債券などに投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 ブラックロック・グローバル・ファンズ・グローバル・アロケーション・ファンド (クラスX2) 世界各国の株式や債券 マネー・マーケット・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として世界各国の株式や債券など、さまざまな資産への分散投資により信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■実質的な運用は、マルチアセット運用に精通したブラックロック・インベストメント・マネジメント・エル・エル・シーが行います。 ■米ドル建ての組入れ外国投資信託証券に対し、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年1回(原則として毎年6月26日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

# 日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし)

## 【運用報告書(全体版)】

(2022年6月28日から2023年6月26日まで)

### 第 9 期

決算日 2023年6月26日

### 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として世界各国の株式や債券などに投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## 日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド（為替ヘッジなし）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	投資信託 証券組入 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
5期(2019年6月26日)	11,633	0	△ 0.2	0.0	95.9	94,752
6期(2020年6月26日)	12,163	0	4.6	0.0	96.1	74,407
7期(2021年6月28日)	15,909	0	30.8	0.0	95.8	57,739
8期(2022年6月27日)	16,247	0	2.1	0.0	95.2	51,633
9期(2023年6月26日)	18,198	0	12.0	0.0	95.3	53,387

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		公社債 組入比率	投資信託 証券組入 比率
		騰落率		
(期首)	円	%	%	%
2022年6月27日	16,247	—	0.0	95.2
6月末	16,435	1.2	0.0	94.9
7月末	16,530	1.7	0.0	95.5
8月末	16,938	4.3	0.0	95.5
9月末	16,405	1.0	0.0	95.9
10月末	17,266	6.3	0.0	95.8
11月末	16,841	3.7	0.0	96.6
12月末	15,885	△ 2.2	0.0	94.6
2023年1月末	16,380	0.8	0.0	95.5
2月末	16,627	2.3	0.0	95.6
3月末	16,454	1.3	0.0	96.1
4月末	16,621	2.3	0.0	95.7
5月末	17,384	7.0	0.0	96.1
(期末)				
2023年6月26日	18,198	12.0	0.0	95.3

※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2022年6月28日から2023年6月26日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	16,247円
期末	18,198円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+12.0% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

**基準価額の主な変動要因（2022年6月28日から2023年6月26日まで）**

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として世界各国の株式や債券など、さまざまな資産へ分散投資を行いました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

なお、運用指図に関する権限の一部をブラックロック・ジャパン株式会社に委託しています。

**上昇要因**

- 株式が上昇したこと
- 期を通してみれば、米ドル高・円安が進行したこと

**下落要因**

- 小幅ながら金利が上昇（債券価格が下落）したこと

投資環境について（2022年6月28日から2023年6月26日まで）

世界の株式市場は上昇しました。世界の債券市場は小幅ながら下落しました。為替市場では米ドルが円に対して上昇しました。

## 株式市場

世界の株式市場は、主要国による金融・財政政策、良好なマクロが消費を下支えしたことが好感され、上昇しました。F R B（米連邦準備制度理事会）をはじめとする世界各国の中央銀行による利上げが終盤に差し掛かっており、グローバルの経済ファンダメンタルズ（基礎的条件）が良好なこと等が、株式、債券市場への追い風となり、株式市場は堅調に推移しました。

## 債券市場

世界の債券市場は、この利上げサイクルの終焉への期待感、インフレの高止まり等の材料が拮抗する中、1年間のトータルリターンは小幅なマイナスとなりました。債券市場に

おいては、引き続き、中央銀行の利上げが金利上昇圧力となったものの、この利上げサイクルの終盤に近づいてくるにあたり、景気後退懸念が意識された際には金利が低下する局面なども見られました。

社債や新興国債券市場全般では、リスク資産が総じて買われ、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は縮小しました。

## 為替市場

期初と比較して期末の円相場は、米ドルに対して円安となりました。期の前半には財務省による介入などから米ドル安・円高となる場面もありましたが、期の後半にはF R Bが金融引き締めを継続する中で、日本銀行は金融緩和を継続する姿勢を示したことなどから、米ドル高・円安が進行しました。

ポートフォリオについて（2022年6月28日から2023年6月26日まで）

## 当ファンド

「ブラックロック・グローバル・ファンズーグローバル・アロケーション・ファンド（クラスX2）」の組入れを高位に保ちました。

## ブラックロック・グローバル・ファンズーグローバル・アロケーション・ファンド（クラスX2）

市場環境の変化に予防的に対応する方針の下、株式、債券、現金などの各資産クラスの

配分を機動的に変更しました。

株式については、米国経済は底堅さを維持していることに加え、企業業績も堅調であること等を踏まえ、当ファンドは株式への配分を増やしました。とはいえ、インフレ率の高止まり、信用状況の逼迫、および割高なバリュエーション（投資価値評価）などを背景に先行き不透明感が高まっており、短期的にボラティリティ（価格変動性）の高い相場が続く可能性があるため、株式への配分を小幅なアンダーウェイトに維持しています。

債券については、米国金利の上昇の見通しを持っていたことやヘッジの効果が薄れていることから、米国債のウェイトは低位としていたものの、2022年中ごろから、FRBによる利上げ織り込みの進展、インフレは徐々に鈍化してくる可能性に鑑み、米国債の配分を徐々に追加しました。米国外の先進国債については、金利上昇を見込み、配分を低位で維持していたものの、足許にかけて配分を引き上げました。また、新興国債や社債、証券化商品などについては、利回りの獲得とポートフォリオの分散投資を企図して徐々に配分を拡大しました。

商品ポートフォリオについては、ポートフォリオの分散効果やヘッジを目的として保有しましたが、リスク資産との相関が高まったことでヘッジ機能が薄れたため、保有を低位に維持しました。

### ●株式

株式の組入れは、期初の53%程度から、米国経済は底堅さを維持していることに加え、企業業績も堅調であること等を踏まえて配分を高め、期末時点では58%程度としました。

### ●債券

債券の組入れは、期初の19%程度から、配分を引き上げ、期末には39%程度としました。

### ●現金等

現金等の組入れは0～30%程度の範囲で、市場環境を見極めつつ、機動的に配分を変更しました。ボラティリティの高い市場展開が続く中、リスク管理の観点および、機動的に投資機会を獲得する資金源として高めの比率で保有していましたが、FRBによる利上げペースの減速を踏まえ、株式や債券などへの配分を行い、期末には1%程度へ削減しました。

---

## マネー・マーケット・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2022年6月28日から2023年6月26日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2022年6月28日から2023年6月26日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第9期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	8,197

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとしたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

引き続き「ブラックロック・グローバル・ファンズ・グローバル・アロケーション・ファンド(クラスX2)」の組入れを高位に保ちます。

### ブラックロック・グローバル・ファンズ・グローバル・アロケーション・ファンド(クラスX2)

米国の経済指標は底堅く推移しており、失業率は50年ぶりの低水準にあります。一方、4月のCPI(消費者物価指数)は前年同月比

で伸び率が鈍化し、予想をやや下回ったものの、FRBの目標水準である2%を依然として大きく上回っています。こうしたインフレの高止まりに加え、割高なバリュエーション、信用状況の逼迫、地方銀行をめぐる信用不安の継続などが米国の株価の下押し要因となっています。とはいえ、当ファンドの基本シナリオでは、米国の名目GDP(国内総生産)は小幅なプラス成長を維持する可能性が高いとみており、緩やかな景気拡大が続けば、サービス・セクターの優良企業を中心に、企業業績は緩やかに改善する可能性があると考えています。

こうした環境の中で、当ファンドは全体的に株式のアンダーウェイト幅を縮小しました。米国以外（主に欧州）の資産について建設的な見方を維持しており、日本についても戦術的に配分を増やしています。特に、優良銘柄や、高成長が期待できる割安な銘柄（GARP銘柄）をポートフォリオの中核に据えています。

また、米国金利の利回り水準は高く魅力的な水準に変化しつつあると考え、債券についても建設的な見方をしています。そのため、当ファンドは社債、証券化資産、および新興

国のソブリン債（政府や政府機関、国際機関などが発行する債券）への配分を維持しています。加えて、米国の地方銀行セクターの混乱を受け、投資適格社債のスプレッドが拡大したため、投資適格社債への配分を増やす機会を模索しています。

---

### マネー・マーケット・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。



日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド（為替ヘッジなし）

1万口当たりの費用明細（2022年6月28日から2023年6月26日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	345円	2.062%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は16,723円です。
（投信会社）	(193)	(1.152)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(147)	(0.878)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(6)	(0.033)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
（株式）	(－)	(－)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数
（株式）	(－)	(－)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(d) その他費用	1	0.007	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.000)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.006)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.001)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	346	2.069	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

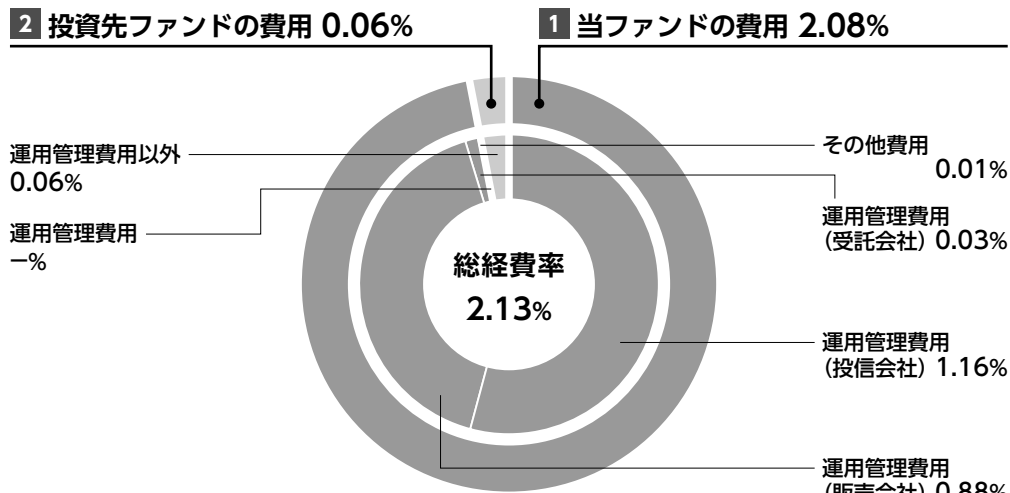
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## 参考情報 総経費率（年率換算）



項目	比率
<b>総経費率 (1 + 2)</b>	<b>2.13%</b>
<b>1</b> 当ファンドの費用の比率	<b>2.08%</b>
<b>2</b> 投資先ファンドの運用管理費用の比率	<b>－%</b>
<b>2</b> 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	<b>0.06%</b>

※ **1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ **2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を、目論見書に記載している料率にもとづき区別しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。ただし、投資先ファンドでの運用管理費用は、当ファンドの運用委託報酬の中から負担しているため、開示すべき運用管理費用はありません。

※ **1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※ 上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.13%です。

# 日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド（為替ヘッジなし）

## ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2022年6月28日から2023年6月26日まで)

投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外国	アメリカ	ブラックロック・グローバル・ファンズ・グローバル・アロケーション・ファンド (クラスX2)	□ -	千アメリカ・ドル -	□ 430,342	千アメリカ・ドル 37,166

※金額は受渡し代金。

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2022年6月28日から2023年6月26日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年6月28日から2023年6月26日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ■ 組入れ資産の明細 (2023年6月26日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)		期 末		組入比率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ルクセンブルグ) ブラックロック・グローバル・ファンズ・グローバル・アロケーション・ファンド (クラスX2)	□ 4,363,794.61	□ 3,933,452.5	千アメリカ・ドル 354,640	千円 50,887,304	% 95.3
合 計	4,363,794.61	3,933,452.5	-	50,887,304	95.3

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

## 日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド（為替ヘッジなし）

### （2）親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	期	末
	口 数	口 数	評 価 額
マネー・マーケット・マザーファンド	千口 14,208	千口 14,208	千円 14,195

※マネー・マーケット・マザーファンドの期末の受益権総口数は76,632,575口です。

### ■ 投資信託財産の構成

(2023年6月26日現在)

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
投 資 証 券	千円 50,887,304	% 94.0
マネー・マーケット・マザーファンド	14,195	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,212,049	5.9
投 資 信 託 財 産 総 額	54,113,550	100.0

※期末における外貨建資産(51,831,004千円)の投資信託財産総額(54,113,550千円)に対する比率は95.8%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=143.49円です。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2023年6月26日現在）

項 目	期 末
(A) 資 産	54, 113, 550, 371円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	3, 212, 049, 718
投 資 証 券 ( 評 価 額 )	50, 887, 304, 706
マ ネ ー ・ マ ー ケ ッ ト ・ マ ザ ー フ ァ ン ド ( 評 価 額 )	14, 195, 947
(B) 負 債	726, 171, 789
未 払 解 約 金	211, 297, 701
未 払 信 託 報 酬	513, 214, 875
そ の 他 未 払 費 用	1, 659, 213
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	53, 387, 378, 582
元 本	29, 337, 549, 042
次 期 繰 越 損 益 金	24, 049, 829, 540
(D) 受 益 権 総 口 数	29, 337, 549, 042口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 ( C / D )	18, 198円

※当期における期首元本額31,780,545,652円、期中追加設定元本額962,469,053円、期中一部解約元本額3,405,465,663円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 分配金のお知らせ

	当 期
1 万 口 当 た り 分 配 金 ( 税 引 前 )	0円

## ■ 損益の状況

（自2022年6月28日 至2023年6月26日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	25, 895, 047円
受 取 利 息	26, 646, 895
支 払 利 息	△ 751, 848
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	6, 708, 838, 688
売 買 損 益	6, 867, 067, 631
売 買 損 益	△ 158, 228, 943
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1, 058, 207, 468
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	5, 676, 526, 267
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	13, 137, 805, 583
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	5, 235, 497, 690
( 配 当 等 相 当 額 )	( 3, 650, 903, 765 )
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 1, 584, 593, 925 )
(G) 合 計 ( D + E + F )	24, 049, 829, 540
次 期 繰 越 損 益 金 ( G )	24, 049, 829, 540
追 加 信 託 差 損 益 金	5, 235, 497, 690
( 配 当 等 相 当 額 )	( 3, 650, 903, 838 )
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 1, 584, 593, 852 )
分 配 準 備 積 立 金	18, 814, 331, 850

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託報酬の中から支弁している額は402,837,362円です。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	21, 839, 672円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	5, 654, 486, 508
(c) 収益調整金	5, 235, 497, 690
(d) 分配準備積立金	13, 138, 005, 670
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	24, 049, 829, 540
1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額	8, 197. 63
(f) 分配金	0
1 万 口 当 た り 分 配 金	0

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

## ■ 組入れ投資信託証券の内容

### 投資信託証券の概要

ファンド名	ブラックロック・グローバル・ファンズ・グローバル・アロケーション・ファンド（クラスX2）
形態	ルクセンブルグ籍会社型投資信託（米ドル建て）
主要投資対象	世界各国の株式や債券など
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>● トータル・リターンを最大化することを目指します。</li> <li>● ファンドは、世界の株式、債券および短期証券に投資します。通常の市況では、純資産の70%以上を国や企業が発行する有価証券に投資します。</li> <li>● ファンドは、割安と判断される有価証券へ投資します。ファンドは、小規模企業および新興国の成長企業の株式に、また債券の投資部分においてはハイ・イールド債券にも投資することができます。</li> <li>● 通貨エクスポージャーについては柔軟に運用します。</li> </ul>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有価証券の空売りは行いません。</li> <li>● 純資産総額の10%を超える借入れは行いません。</li> <li>● 同一発行体の有価証券等への投資割合は、純資産総額の10%以内とします。</li> <li>● 非流動性資産への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。</li> </ul>
分配方針	分配を行いません。
運用管理費用	<p>運用報酬はありません。</p> <p>※管理および保管に要する費用などがかかりますが、これらはファンドの運用状況等により変動するものであり、事前に料率等を示すことができません。</p>
その他の費用	<p>ルクセンブルグの年次税（年0.01%）、ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
スイング・プライス	ファンドの買付け、売却がポートフォリオに重要な影響を与えられとされる場合、予想される取引スプレッド、コスト、その他の要因を考慮して、その売買価格が調整されることがあります。
投資顧問会社	ブラックロック・インベストメント・マネジメント・エル・エル・シー
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「ブラックロック・グローバル・ファンズ・グローバル・アロケーション・ファンド（クラスX2）」をシェアクラスとして含む「ブラックロック・グローバル・ファンズ・グローバル・アロケーション・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

■ 損益及び純資産変動計算書(2021年9月1日から2022年8月31日まで)

(単位：米ドル)

期首純資産	18,768,461,196
収益	
受取銀行利息	406,105
債券利息、源泉税控除後	112,866,334
スワップ利息	28,570,292
差金決済取引（金利）	53,100
短期金融市場預託金利息	52,976
集団投資スキーム収益（源泉税控除後）	1,150,568
配当金（源泉税控除後）	165,620,430
差金決済取引（配当）（源泉税控除後）	13,998
有価証券貸付収益	2,366,590
管理報酬リベート	71,764
その他払い戻し	62,916
収益合計	311,235,073
費用	
スワップ利息	11,066,220
差金決済取引（配当）源泉税控除後	1,927,089
年間サービス料	31,862,003
貸付委託費用	117,105
保管および預託報酬	2,164,905
販売報酬	15,231,194
税金	7,184,555
管理報酬	210,652,502
費用合計	280,205,573
純損益	31,029,500
以下に係る実現純利益／（損失）：	
投資有価証券	566,315,741
TBA証券取引契約	(3,163,067)
差金決済取引	37,430,485
上場先物取引	110,580,444
オプション／スワップション契約	39,134,606
スワップ取引	33,508,814
為替先渡取引	(762,326,456)
その他の取引に係る外国通貨	32,980,022
当期実現純損益	54,460,589

## 日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド（為替ヘッジなし）

以下に係る未実現評価益／（損失）の純変動額：

投資有価証券	(3,320,399,957)
TBA証券取引契約	(2,139,296)
差金決済取引	4,332,461
上場先物取引	26,509,611
オプション／スワップション契約	(44,087,563)
スワップ取引	(40,140,602)
為替先渡取引	(111,673,560)
その他の取引に係る外国通貨	(465,435)
当期末実現評価損益の純変動	(3,488,064,341)
運用による純資産の増減	(3,402,574,252)
資本の変動	
投資証券発行による正味受取額	3,249,295,034
投資証券買戻しによる正味支払額	(3,508,196,590)
資本の変動による純資産の増減	(258,901,556)
配当金宣言額	(10,173,670)
期末純資産	15,096,811,718

### ■ 組入上位銘柄 (基準日：2022年8月31日)

組入銘柄	組入比率
TREASURY NOTE 2.75 04/30/2027	5.9%
TREASURY NOTE 3.25 08/31/2024	2.6%
MICROSOFT CORP	1.7%
APPLE INC	1.7%
ALPHABET INC CLASS C	1.3%
TREASURY (CPI) NOTE 0.5 04/15/2024	1.3%
AUSTRALIA (COMMONWEALTH OF) 1 11/21/2031	1.2%
AMAZON COM INC	1.1%
UMBS 30YR TBA (REG A)	1.0%
CONOCOPHILLIPS	0.9%

※比率は純資産総額に対する割合



# マネー・マーケット・マザーファンド

第12期 (2022年3月2日から2023年3月1日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2011年5月31日)
運用方針	主として、円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■ 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		期 中 騰 落 率		
	円	%	%	百万円
8期 (2019年3月1日)	10,019	△0.1	74.1	89
9期 (2020年3月2日)	10,013	△0.1	80.6	77
10期 (2021年3月1日)	10,002	△0.1	75.9	76
11期 (2022年3月1日)	9,994	△0.1	76.0	76
12期 (2023年3月1日)	9,991	△0.0	74.7	76

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

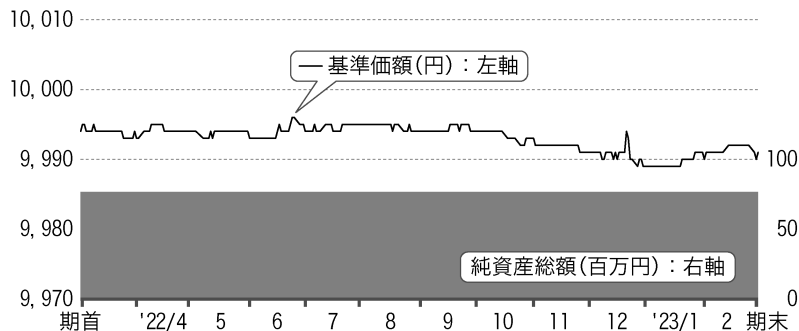
年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
		騰 落 率	
(期 首)	円	%	%
2022年3月1日	9,994	—	76.0
3月末	9,993	△0.0	76.1
4月末	9,994	0.0	76.0
5月末	9,993	△0.0	74.8
6月末	9,994	0.0	74.8
7月末	9,995	0.0	74.8
8月末	9,994	0.0	74.7
9月末	9,994	0.0	74.8
10月末	9,993	△0.0	74.8
11月末	9,991	△0.0	74.7
12月末	9,989	△0.1	74.8
2023年1月末	9,990	△0.0	74.8
2月末	9,990	△0.0	74.7
(期 末)			
2023年3月1日	9,991	△0.0	74.7

※騰落率は期首比です。

## 1 運用経過

### ▶ 基準価額等の推移について (2022年3月2日から2023年3月1日まで)

#### 基準価額等の推移



期首	9,994円
期末	9,991円
騰落率	-0.0%

### ▶ 基準価額の変動要因 (2022年3月2日から2023年3月1日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

#### 下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

---

▶ 投資環境について (2022年3月2日から2023年3月1日まで)

---

短期金利は低下しました。

世界的にインフレが高止まりを続けたことや、欧米中央銀行による大幅な利上げの継続を背景に円安が進行したことから、国内でも物価上昇率が拡大し、CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）は前年比+4%台まで上昇しました。しかし、日銀はコストプッシュ型の物価上昇は持続的でないとの見方から、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、年末越え運用ニーズの強まりから一時的に大きく低下する局面もありましたが、日銀が需給動向を勘案し、短期国債の買入れ額を調整したことから、期を通じて概ねレンジ推移となりました。

---

▶ ポートフォリオについて (2022年3月2日から2023年3月1日まで)

---

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しの下、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

---

▶ ベンチマークとの差異について (2022年3月2日から2023年3月1日まで)

---

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## ② 今後の運用方針

商品市況の高騰や為替の円安を背景に、当面は物価上昇率の高止まりが続きますが、日銀はコストプッシュ型の物価上昇は持続的でないとの見方を維持し、マイナス金利政策を継続する見込みです。従って、短期国債利回りやコールローン（金融機関同士のごく短期の資金の貸借）翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは、引き続きマイナス圏の推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細(2022年3月2日から2023年3月1日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	1円 (1)	0.005% (0.005)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	1	0.005	

期中の平均基準価額は9,993円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2022年3月2日から2023年3月1日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内		千円	千円
	国債証券	14,088	—
	特殊債証券	43,359	—
			(58,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※( )内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等(2022年3月2日から2023年3月1日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況  
(2022年3月2日から2023年3月1日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2023年3月1日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	14,000 (-)	14,077 (-)	18.4 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	18.4 (-)
特 殊 債 券 (除く金融債券)	43,000 (43,000)	43,129 (43,129)	56.3 (56.3)	- (-)	- (-)	- (-)	56.3 (56.3)
合 計	57,000 (43,000)	57,206 (43,129)	74.7 (56.3)	- (-)	- (-)	- (-)	74.7 (56.3)

※( )内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
国 債 証 券	332 10年国債	%	千円	千円	
		0.6000	14,000	14,077	2023/12/20
	小 計	-	14,000	14,077	-
特 殊 債 券 (除く金融債券)	189 政保道路機構	0.5410	14,000	14,013	2023/04/28
	2 政保新関西空港	0.8820	14,000	14,044	2023/06/27
	200 政保道路機構	0.8010	15,000	15,071	2023/09/29
	小 計	-	43,000	43,129	-
	合 計	-	57,000	57,206	-

■ 投資信託財産の構成

(2023年3月1日現在)

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 57,206	% 74.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	19,355	25.3
投 資 信 託 財 産 総 額	76,561	100.0

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年3月1日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	76,561,741円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	19,305,618
公 社 債 ( 評 価 額 )	57,206,522
未 収 利 息	47,530
前 払 費 用	2,071
(B) 負 債	300
そ の 他 未 払 費 用	300
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	76,561,441
元 本	76,632,575
次 期 繰 越 損 益 金	△ 71,134
(D) 受 益 権 総 口 数	76,632,575口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 ( C / D )	9,991円

※当期における期首元本額76,632,575円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額0円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

高成長インド・中型株式ファンド	17,711,132円
アジア好利回りリート・ファンド	99,971円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型)	7,742,960円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型)	1,337,053円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド (為替ヘッジあり/3カ月決算型)	4,909,194円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド (為替ヘッジなし/3カ月決算型)	1,456,790円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (為替ヘッジなし)	14,208,735円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (限定為替ヘッジ)	1,237,272円
三井住友・ニュー・アジア・ファンド	369,177円
アジア好利回りリート・ファンド (年1回決算型)	997円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (為替ヘッジなし/年2回決算型)	1,187,376円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (限定為替ヘッジ/年2回決算型)	389,132円
日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCBファンド (為替ヘッジあり)	289,352円
日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCBファンド (為替ヘッジなし)	419,066円
グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジあり)	4,140,881円
グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジなし)	11,065,647円
グローイング・フロンティア株式ファンド	2,185,185円
高成長インド・中型株式ファンド (年1回決算型)	7,882,655円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ お知らせ

### <約款変更について>

該当事項はございません。

## ■ 損益の状況

(自2022年3月2日 至2023年3月1日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	414,167円
受 取 利 息	422,396
支 払 利 息	△ 8,229
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△434,550
売	△434,550
買	△434,550
(C) そ の 他 費 用 等	△ 4,028
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	△ 24,411
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 46,723
(F) 合 計 ( D + E )	△ 71,134
次 期 繰 越 損 益 金 ( F )	△ 71,134

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。